

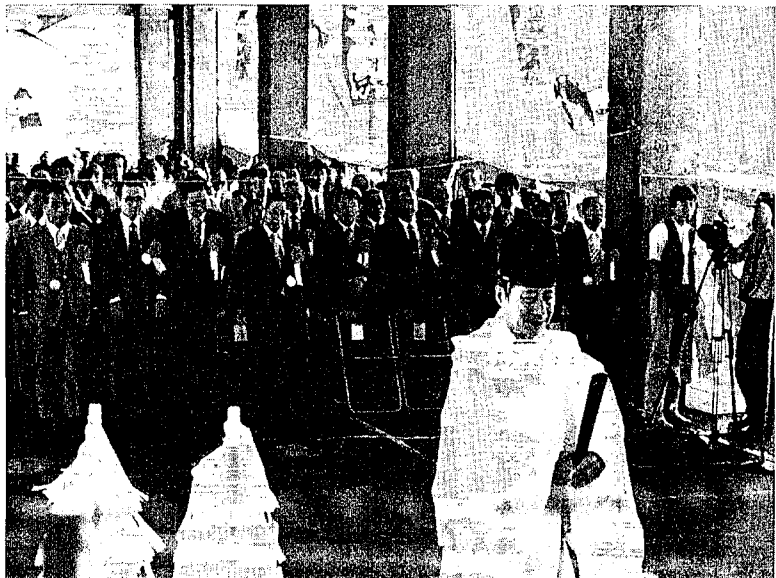
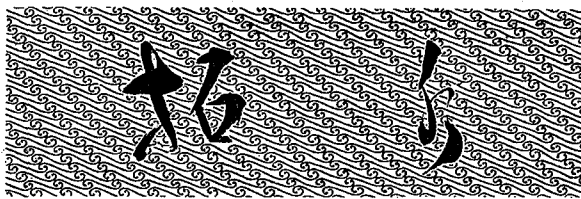
豊かで充実した老後を

漁業者年金

ひとりば万人のために、万人はひとりのために

9月号 No. 371
一部 10円

発行所 兵庫県漁業協同組合連合会
(財)兵庫県水産振興基金
神戸市兵庫区中之島 2-2-1
TEL 681-6954~7
発行人 兵庫県漁業協同組合連合会



第13回 豊漁祈願祭

室津漁港

去る七月三十日、漁業関係者二〇〇余名が豊漁を祈念し、第13回豊漁祈願祭(主催兵庫県漁連)が揖保郡御津町室津漁港において行われました。
この日は、晴天に恵まれ、室津漁港周辺に掲げられた数百枚の大漁旗の翻りくく、目原俊民兵庫県知事をはじめ、各界の来賓を

続いて各界の来賓の挨拶をいただいた後、



室津漁港

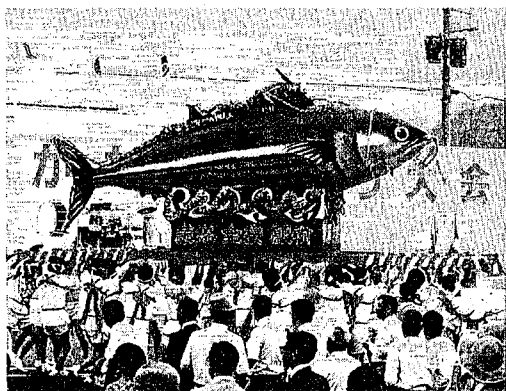
豊漁祈願祭これまでの歩み

- 第1回 神戸市垂水漁港
- 第2回 淡路町岩屋港
- 第3回 御津町岩見漁港
- 第4回 香住町香住漁港
- 第5回 明石市明石港
- 第6回 神戸市垂水漁港
- 第7回 南淡町福良(門崎)
- 第8回 香住町香住漁港
(全国豊かな海づくり大会協賛)
- 第9回 家島町坊勢漁港
- 第10回 神戸市垂水漁港
- 第11回 南淡町福良漁港
- 第12回 浜坂町浜坂漁港
- 第13回 御津町室津漁港

放流魚一覧表

マダイ稚魚(体長5cm)	10,000尾
抱卵ガザミ(全甲幅長17cm)	30尾
マダイ(体長15~20cm)	10尾
ハマチ(1.5~2.0kg)	10尾
ヒラメ(体長15~20cm)	30尾
カレイ(体長15~20cm)	30尾
雑魚(アイナメ、カサゴ、メバル他)	50kg

地元の小学生により放された風船が空に舞い上がる中、海上行事へと移りました。
県水産課の「はやたか」、県水試「ひょうご」をはじめとする放流船に参加者が分業し、放流パレードが行われ、室津沖合沖ノ唐荷島付近で海上祈願の後、マダイ稚魚、抱卵ガザミを中心に放魚されました。
但馬海域、瀬戸内海域の永遠の豊漁を祈念してやみません。



第七回全国豊かな海づくり大会が、七月十九日、鹿児島県枕崎市の枕崎漁港に皇太子ご夫妻をお迎えして開催された。この大会には、海岸線を持つ三十九都道府県からの招待者千五百五十人と鹿児島県

第7回 全国豊かな海づくり大会 ~鹿児島県 枕崎漁港~



内漁業者五千八百人が参加した。
テーマ「ふるさとに活力まねく海づくり」のもとに、関係者一同は、海の環境保全を図り、つくり育てる漁業の一層の推進を誓い合った。

漁船パレードの後の放流は、ご夫妻に合わせ、参加者も岸壁からマダイ、クルマエビなどの稚魚十萬匹を東シナ海に放った。
兵庫県からは、漁協及び系統団体の役員と県関係者の総勢六十七名が参加し、十八日から二十日にかけて鹿児島島の地を見て回った。





八月二十一日、明石海浜公園グラウンドで兵庫県漁青連会長杯争奪ソフトボール大会が行われました。

このソフトボール大会は、毎年八月に県下の青壮年部員が一堂に会して開かれるもので、今年で第十一回目を迎える。相互の交流を図るとともに、日頃鍛えた腕節を競い合うのも、今回は十一チーム、約二〇〇人が参加し、終日熱戦が繰り広げられた。

従来、トーナメント方式で行われていたが一回戦で敗退するチームがあり、これでは親睦にならないとの批判もあり、本年度はリーグ制を採用し、最低二回は試合が楽しめる様に改められた。

予戦リーグの勝ち点により上位四チーム(沼島、明石浦A、福良、明石浦B)が決勝トーナメントへ進出した。決勝戦では、沼島漁協青壮年部チームが明石浦Aチームを破り、二年連続、六度目の優勝を果たした。

最優秀選手賞—中元 正明(沼島)

敢闘賞—大西佳尚(明石浦)

去る八月八日(土)津名町志筑津名臨海グラウンドに於て、第八回淡路水交会長杯争奪ソフトボール大会が二十一年連続、本大会最優秀



ム(約三〇〇名)参加のもと盛大に開催されました。

大会は、回数を重ねる毎に技術的、精神的に益々充実してきた事もあり、選手達は日頃の練習成果を大いに発揮し、白熱した試合を繰り広げ、大会運営についても青壮年部員自身の手で意欲的に審判をつとめました。

試合の方は激戦の末、森漁協4日クラブBチームが優勝候補の筆頭であった沼島漁協青壮年部Aチームを下し、栄冠を勝ち取りました。そして県大会出場のキープを手にしたのは次の四チームに決定しました。

森漁協4日クラブ、沼島漁協青年部、福良漁協水産青年部、郡家うず潮会。

また、本大会最優秀

海区漁業調整委員会だより

七月二十七日
兵庫県瀬戸内海海区漁業調整委員会委員協議会を具中央労働センターで開催。

一、全国海区漁業調整委員会連合会「沿岸漁業調整問題検討会」について

五月十三日の同連合会総会で設置が決定され、今後重要案件の処理に全役員が対処することになった。この為当委員会として、当面の「問題点」について審議が行われました。

二、その他
六月二十四日開催

れた大阪湾漁業調整協議会総会で締結された本年度の「大阪湾漁業協定書」についての報告を行いました。

七月三十一日
但馬海区漁業調整委員会委員協議会を但馬水産事務所会議室で開催。

一、日本海漁業調整委員会連絡協議会の提出議題について

(1) 日朝民間漁業暫定合意書の早期締結について。

(2) 韓国漁船の不法操業に対する取締りに

諸外国に出漁する大型いかづり漁業の漁獲量規制について。

提案することになった。

二、沿岸漁業調整問題検討会について

沿岸漁業調整問題検討会の経緯説明と、現時点の問題点として、

(1) 一、二の議題に対する(1) (2) (3)の事項を取上げ提出することに決めました。

三、大和堆ズワイガニ移殖放流試験事業について

昭和六十年度から実施されている、移殖放流試験事業の現在までの結果について、但馬水産事務所試験研究室より報告がなされました。

八月十八日
第三八回但馬海区漁業調整委員会を但馬水産事務所会議室で開催。

一、べにずわいかにかご漁業の許認可取扱方針について(諮問)

審議の結果、原案を一部削除し答申することにより決定されました。

二、定置・区画漁業権に係る設定要望等の概要について

定置・区画漁業権の設定要望に対する漁業権設定要望の概要について、

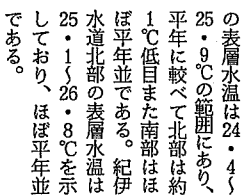
八月二十六日
兵庫県瀬戸内海海区漁業調整委員会委員協議会を具中央労働センターで開催。

一、区画漁業権に係る設定要望等の概要について

区画漁業権の一斉切替えに対する漁業権設定要望について、

二、その他

本年十月の全国海区漁業調整委員会連合会の西部ブロック会議での提案議題等について協議が行われました。



漁海況情報

昭和62年8月兵庫県立水産試験場(播磨灘) 8月5~6日

海況(明石海峡周辺) 旬平均水温は上旬21.1℃、中旬24.5℃を示しており、平年に較べて上旬は0.5℃低目であり、中旬以降平年並に推移している。

(大阪湾西部・紀伊水道北部) 8月17日の調査結果によると大阪湾の表層水温は24.4℃、25.9℃の範囲にあり、小型底曳網ではメイタ、カレイ、サルエビ、マダコ、マナゴなどが主に漁獲されている。

漁況(小型底曳網) 明石海峡周辺を主漁場とする

尚、当大会では、海難遺児への募金の為、会場にて缶ジュースを販売し、大会参加者のご協力によって得た売上金を寄付致しました。



調査地: 福良 主漁場: 鳴門海峡、紀伊水道北部

漁業資源	漁獲量	主魚種	一獲 日平均		キロ単価(円)	備考
			漁獲量(kg)	前年比		
小型底曳網	8	シラサエビ	2	1.0	4,000	エビ増網
	4	カワウエビ	1.2	2,000		
	30	中〜小アカシタ	1.2	300-700		
	6	その他	1.2	1,000-2,000		
一本釣	7	タイ	8	2.0	3,000-6,000	吾智網
	15	カスゴ	1.0	1,000		
	1	タコ	0.2	800		
	50	ウマヅラハギ	1.5	100		
	5	シロゴチ	1.0	300		
一本釣	20	サワラ	1	1.0	1,500	
	20	サゴシ	1.2	1,100		
	3	エン		100		
	85	タチウオ	45	0.5	700-1,000	
	11	タコ	5	0.5	800-1,350	
延縄	5-6	マアジ	3		1,800	
	22	アナゴ	75	2.0	700	
	30	タコ	30		800-1,350	
延縄	3	アサリ	40	0.8	180-300	採貝
	8	タナゴ	13		1,600	
	12	アイナメ	2	5.0	600	
刺網	2	カサゴ			600	
	3	アコガ			3,500	
	2	アウビ			2,500	
	5	サザエ			1,000	
突網	2-3	タコ			800	

無線機の正しい操作で私たちの「いのちづな」を守りましょう。

般に低調な漁獲様態である。見られない。紀伊水道北部ではヒラアジ(マアジ)が例年になく好漁で、ほぼ全船が出漁している。(1日アジ、マサバ、スズキが主に漁獲されている。)

タチウオはますますの好漁を示しているが(1日1隻当り60~100kg)、マルアジ、マサバは不漁である。スズキは不漁で、ほぼ全船が出漁している。(1日アジ、マサバ、スズキが主に漁獲されている。)

盆明け後シラスの魚影が見られず休漁状態となっている。一方播磨灘では1統当り20kg程度の漁獲が続いている。今期のこれまでのシラス漁は、昨年の

2分の1以下の漁獲量にとどまっているが、単価は昨年の2~3倍を示している。



電波法令遵守月間

守ります。電波、水産、新時代。10月1日~31日

10月は電波法令遵守月間です!

無線機の正しい操作で私たちの「いのちづな」を守りましょう。

般に低調な漁獲様態である。見られない。紀伊水道北部ではヒラアジ(マアジ)が例年になく好漁で、ほぼ全船が出漁している。(1日アジ、マサバ、スズキが主に漁獲されている。)

盆明け後シラスの魚影が見られず休漁状態となっている。一方播磨灘では1統当り20kg程度の漁獲が続いている。今期のこれまでのシラス漁は、昨年の

2分の1以下の漁獲量にとどまっているが、単価は昨年の2~3倍を示している。

全国漁業無線協会

生活改善通信

魚食普及は、まず足元から

近年、魚の持つ良質のたんぱく質や脂肪中に含まれている特有の高度不飽和脂肪酸およびタウリン等が、心臓疾患の成人病予防に効果があることが明らかとなり、魚の価値が見直されています。新鮮な魚はおいしい。鮮度のよい魚は、そのままさしみやたたきにするだけでおいしくいただくことができます。味付けする必要もありません。スーパーなどで購入する魚は、うろこはほとんどはがれてしまい、腹から血が出ていれるものもたくさんみられます。諸々のアンケートによると、魚が嫌いなる理由が「骨がある。生臭い」が最も多い。三分の一以下に低下、失明の時の問題と覚悟するものやむなさに至った。脳血管性視力失調症(時々左眼が何も見えなくなる状態)は治療の方法は無いのだが、見える状態のときの視力の急激な低下は黄班部(目の玉の中央部に眼の神経が集中している部位)に異変に起因するもので、これは眼科的処置が可能なものの、自分の場合、視力低下が血圧との関連があるかどうか今暫く観察の要があるとのことで現在は何の処置なきまま放任されている。そこで自分は万一の僥倖を期待する

「いわし雲や
北沢町」
九月十三日放送
淡路島の西北端、津名郡北沢町。明石海峡播磨灘に面し十八kmにも及ぶ海岸線をもつ細長い地形の町。
古代より松帆の浦、野島、富島の浜は美しく、万葉の歌人たちも歌に多く残した。
約八十年前の縄文遺跡：斗ノ内の海底より数多く網にかかったタコツボ、先人の営みが今に伝わる歴史ある町

「サ、テレビ」
「こちら海です」
「ケダより」

です。昭和二十三年三月、北沢路の旧六か町村、仁井、野島、富島、浅野、育波、室津が淡路のトップを切って大合併し「北沢町」が誕生しました。現人口一万二千三百四十三人、漁業と農業の町です。平均気温が十五度と温暖な気候は多くの実りをもたらす。全国四大産地のひとつに数えられる初夏のびわをはじめ、ぶどう、栗。今年初めてりんごが実り始めた。自然が多く残る山は高原の面持ち。また、東西へ見渡せる海は、はるかな潮風をも届けてくれます。北沢町は淡路地区の漁場揚場の約四十％を占める瀬戸内海の核心的漁業基地。

「新装、須磨水産園」
十一月一日
大阪府
神戸市
十八日
「栖原角兵衛物語」
和歌山県湯浅町
二十五日
「どっこい生きて車座で酒盛り」
小浜市泊
(日曜正午よりサンテレビ)

終筆の辞(1)
(年貢の納め時)...
悪事をしつづけたものが入るわけ、自分は解散までの十八年間の漁連生活を、県下業界につけて観念すべき時「広野苑」
昭和五十一年十一月一〇日発行第二四二号以来延々十二年の長きにわたり連載してきた「漁協一代」ではあるが、どうやら年貢の納め時が来たようだ。実は筆者が但馬漁連解散新漁連発足を機会にお役ご免をこうむった昭和五十九年九月一日が六十五才の誕生日であった。その時自分は心ひそかに余生二十年と勘定し爾後の境涯に処する計画を樹て、拓水に自分の一代記を叙述しようとした決心が、最近左眼はほとんど視力が

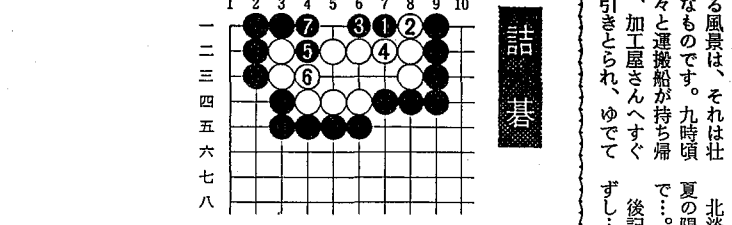
「漁協一代」(その十八) 作花英治
度も読んでいる有様で、あけく果首の根っ子が痛み肩が凝るといしまつて、読み書きそのものが苦行になって来た。大方ご承知の如く自分にはライフワーくとも謂うべき「柴山港漁業協同組合(甲後編)編纂を完了すべき仕事が残っていて、こ

三分の一以下に低下、失明の時の問題と覚悟するものやむなさに至った。脳血管性視力失調症(時々左眼が何も見えなくなる状態)は治療の方法は無いのだが、見える状態のときの視力の急激な低下は黄班部(目の玉の中央部に眼の神経が集中している部位)に異変に起因するもので、これは眼科的処置が可能なものの、自分の場合、視力低下が血圧との関連があるかどうか今暫く観察の要があるとのことで現在は何の処置なきまま放任されている。そこで自分は万一の僥倖を期待する

「いわし雲や
北沢町」
九月十三日放送
淡路島の西北端、津名郡北沢町。明石海峡播磨灘に面し十八kmにも及ぶ海岸線をもつ細長い地形の町。
古代より松帆の浦、野島、富島の浜は美しく、万葉の歌人たちも歌に多く残した。
約八十年前の縄文遺跡：斗ノ内の海底より数多く網にかかったタコツボ、先人の営みが今に伝わる歴史ある町



「いわし雲や
北沢町」
九月十三日放送
淡路島の西北端、津名郡北沢町。明石海峡播磨灘に面し十八kmにも及ぶ海岸線をもつ細長い地形の町。
古代より松帆の浦、野島、富島の浜は美しく、万葉の歌人たちも歌に多く残した。
約八十年前の縄文遺跡：斗ノ内の海底より数多く網にかかったタコツボ、先人の営みが今に伝わる歴史ある町



「詰碁」
詰碁の答え
黒「1」に打つのが良手です。
白「2」の時黒「3」で打ち、白「4」黒「5」白「6」黒「7」の好手筋で白死にます。
黒「3」を「4」に打つのは白「3」で活きたらダメです。

